

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年 3 月 31 日

事業所名 児童発達支援センターはぐはぐ子ども村

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			室外遊技場のウッドデッキの改修を行う
	2	職員の配置数は適切である	9			欠員が生じた際の速やかな補充を行う
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		写真、絵、図などを使って視覚支援を実施している	現状を維持する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		室内の清掃、換気には注意している	現状を維持する
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	児童についてのケース会議、日々の個別の記録作成時の振り返りを生かしている	現状を維持する
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1		保護者様への情報発信を協会を通じて行う
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	ケース会議で改善点、指摘事項の討議を行っている	改善点などの報告を今後ホームページ、ニュースレターなどで行っていく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		9		今後検討していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			テーマ別の研修機会を設けていく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			現状を維持する
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			現状を維持する
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			現状を維持する
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			現状を維持する
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	職員への聞き取りを細かく行っている	積極的な参画をさらに促す
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		特に身体を使うサーキットプログラムの改定、随時の園外保育を行っている	現状を維持する
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9			現状を維持する
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		毎朝の職員ミーティングにて打ち合わせを行っている	現状を維持する
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		全員での療育終了後の個別の療育記録作成時に振り返りと共有を図っている	現状を維持する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			現状を維持する
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9			現状を維持する

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			現状を維持する
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		各自治体の保健センター等と情報共有を行い密に連携をとっている	現状を維持する
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		定期的な訪問と要請時の訪問	現状を維持する
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		定期的な訪問と要請時の訪問	現状を維持する
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9			現状を維持する
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9		殆どが保育園、幼稚園との並行通園である。またイベントなどで機会を設けている	現状を維持する
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	4	子ども子育て会議への参加をしている	現状を維持する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		母子遊園の活用や電話での相談を受けている	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	1	子育て研修を実施している	実施についての周知方法を工夫する
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時の丁寧な説明を心掛けている	保護者様に合わせた説明を行っていく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		個々の成長に合わせて計画を見直している	より丁寧な支援内容の説明を心掛けていく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		定期的に母子通園時の相談、いつでも相談に応じる旨を周知している	母子通園に参加できなかった方へ電話、メールを通じての情報共有をより強化して行く
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	1	母子通園時に懇談会を設け、連携の支援を行っている	母子通園への参加を訴える
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		対応の手順を整えるとともに情報の伝達を速やかに行うようにしている	窓口となった担当者のより適切な対応の向上を図っていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		毎月1回のお便りと年1回のニュースレターの発行を継続している	紙面をより良くする努力を継続する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		職員は情報保護の誓約書の提出を行い、外部への提供については要件の確認を確実に実行	現状を維持する
	39	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	伝わりやすい話し方を心掛けている	意思疎通が困難な状況は発生していないが今後もより良い配慮を心掛けていく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9		法人主催イベントへの参加を呼び掛けている	周知方法を工夫していく

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	4	緊急時の様々な状況の想定を設定して訓練を行う	アニュアルの整備が十分とは言えないため今後整備を続けていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		事業所の立地に合わせた訓練を実施している	今後大掛かりな訓練の実施を検討する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	1	利用開始前に会議にて状況の確認と共有を図っている	定期的な再確認を行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	利用開始前に会議にて状況の確認と共有を図っている	定期的な再確認を行っていく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2	始業前、終業後のミーティングで共有している	グループ事業所で共通の事例集を作成する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		研修受講者を選び毎回受講している	事業所内研修をさらに充実させる
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		研修受講者による繰り返しの社内研修を行っている	事前説明時により具体的な事例などを用い丁寧な説明を行っていく